

対サントメ・プリンシペ 国別開発協力方針

2019年4月

1. 当該国（地域）への開発協力のねらい

サントメ・プリンシペは人口の62%（2017年）が貧困層にあたり、貧困削減が大きな課題となっている。また、小島嶼国である同国国民の厳しい生活環境に鑑み、食料安全保障及び社会経済開発への努力を支援することは、我が国の開発協力大綱の重点分野である「質の高い成長とそれを通じた貧困撲滅」の観点からも意義が大きい。加えて、同国では民主的選挙により与野党間の政権交代が平和裡に行われ、安定的なガバナンスが定着しつつあることから、他のアフリカ諸国に民主主義モデルを示す観点からも重要である。さらに、同国は広大な排他的経済水域を擁していることから、水産分野においても戦略的に重要な位置づけにある。

2. 我が国のODAの基本方針（大目標）：持続可能で安定した成長の支援

国民の6割以上が貧困層であることから、食料安全保障や基礎的社会サービスの向上を通じて、貧困削減に貢献し、持続可能な成長を支援する。

3. 重点分野（中目標）

（1）食料安全保障

小島嶼国である同国は食料生産力が限定される上、人口増加に伴い貧困率が増加傾向にあるため、我が国の食糧援助を通じて同国の食料安全保障に貢献する。また、技術協力、草の根・人間の安全保障無償資金協力等のスキームを組み合わせ、同国主要産業である農水産業の発展に寄与する。

（2）基礎的社会サービスの向上

一定数の国民が未だ貧困層であり、貧困は同国の主要な開発課題の1つであることから、保健や教育などのサービスの担い手を対象とした能力向上や環境整備支援を通じて、基礎的社会サービスの向上を支援する。

4. 留意事項

我が国のプレゼンス向上のため、様々な広報ツールの活用を検討し、文化無償も含めた文化面での協力の可能性も追求する。

（了）

別紙： 事業展開計画